

自敬寺
寺報

曉雲

NO89

【発行所】自敬寺
発行人 服部隆志
〒532-0006 大阪市淀川区
西三国2-12-43
TEL:06-6391-5348
FAX:06-6391-4567
jikeiji@gol.com
http://www.jikeiji.com

彼岸会のお知らせ

謹啓 春は足元に来ています。皆様いかがお過ごしですか。
お正月の三が日は穏やかでしたが、その後、寒さが厳しくなり、日本海側では大雪になりました。「雪は豊年の兆し」と言いますが、そつなつてほしいものです。

さて恒例の彼岸会を左記により行います。今年は仮本堂です。例年どおりには開催できませんが、どうぞご参詣下さいますようお願い申し上げます。
合掌

日時 三月十七日(金曜日)

午前9時～午後5時

三月二十日(月曜日・お彼岸の中日)

午前9時～午後5時

法要とお話で20分ぐらいを予定しております。予約は不要です。随時に勤めます。和尚一人ですがどの時間帯でもどうぞお越しください。一度に25名様はお入りいただけます。

お彼岸について

お彼岸の期間は、中日(祭日)を挟んだ一週間です。お寺では彼岸会の法要があり、ご先祖の墓に詣でたり、家庭では彼岸だんごやおはぎなどを作って仏壇に供えたりしています。

彼岸とは「彼岸」のこと。苦しみの「此の岸」から「仏の岸・彼岸」に渡るう、幸せになろうという意味です。皆さんどんな時に幸せを感じますか? 彼岸は迷いの世界から悟りの世界に到ろうという仏教の示す生活指針です。

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、この時期は、昼夜の長さが同じになります。春分の日を過ぎると暖かさを増し、昼が長く、夜が短くなって夏に向かう季節の変わり目です。

春分の日は、このように自然のあらゆる生命が若々しく萌えあがる時であり、秋分の日は「亡くなった人を偲ぶ日」とされています。自然の摂理にもとづいて、春分の日を希望の日、秋分の日を追悼の日として国民の祝祭日にもなっています。

彼岸に渡る方法として「六波羅蜜」の実践があります。自分にはどんなことが出来るでしょうか。因みに「波羅蜜」とは「パーラミタ」というインドの古い言葉の漢訳で「彼岸に至る」という意味です。自分の心がけ(生き方)で誰でも彼岸に渡れるということです。

- 蜜
- ①布施(自分にして欲しいことを進んで人にする)
 - ②持戒(悪いことをしないで善いことをする)
 - ③忍辱(不平不満をいわずに、がまんする)
 - ④精進(努力して励む)
 - ⑤禅定(心の静かさを失わない)
 - ⑥智慧(ありのままの真実の姿を見つめる)



春は牡丹餅、秋はお萩

自敬寺開創300年記念「本堂新築」事業

一集い、やすらぎ、学び、修め、自覚する本堂一

おかげさまで自敬寺は厳しい時代を乗り越え、今日まで存続することが出来ました。厚く御礼申し上げます。現在、将来を見据え本堂を建て替えています。

本堂の特徴

- 鉄骨2階建、1階には受付・簡易キッチン・歓談スペース・図書コーナー・多目的室・寺務室・男女別トイレ・多目的トイレ・シャワー室があります。
- 本堂は2階です。9人乗りのエレベーターで車いすの方も安心です。78畳あり、150人のいす席が確保されます。暖房は床暖房です。
- 本尊十一面観世音菩薩は京都の仏師工房で修復中。天窓からの自然光で時間によって趣が変わります。須弥壇の木彫もそのまま前机になります。
- 黄檗の特徴の丸くずしは外部階段にガラスエッチングで表現され、テラスには吊り灯籠、屋根付きの駐輪場や、数台ですが駐車場もできます。



10/15起工式



基礎工事完成



2/15鉄骨が組まれました

○志納金 現在 207名様から ¥37,168,712円のご志納を預かっております。

○奉納写経 納経料は1枚1000円です。現在約1100名様が納経
納経料合計¥1,105,000円をいただいております。

○喜捨箱 現在 112名様から ¥659,199円の喜捨をいただいております。

※合計 ¥38,932,911円 ※目標達成率 38.9% 29年2月22日現在
目標まで ¥61,000,000円

お寺は、縁あるみんなでシェア(共有)する供養と修養の場です。お寺の本堂はあなたの家の仏間であり、ご本尊はあなたの家のお仏壇です。家に仏壇がなくても、お寺の来ればいつでもお参り出来る。そんなお寺でありたいと思っています。

○本堂新築への賛同者募集・ご寄進をお願いいたします

ご寄付の額に決まりはありません。皆様それぞれに可能な金額でご厚志を賜わりたく存じます。(例えば、例:毎月振込んで下さる方、写経を300枚目標に書いておられる方、貯金箱を持参される方、など様々です。) 尚、御寄進・写経・貯金箱をお寄せいただきました皆様方のご芳名のみを自敬寺新聞(暁雲)に掲載、本堂内に掲示させていただきます。

☆御寄進の方法

- ①口座への振込(右記の口座)
- ②現金書留にて送金。
- ③直接お寺に納金。
- ④奉納写経 一枚1000円
- ⑤慈悲喜捨箱(貯金箱)

☆りそな銀行 三国支店

普通 0159384 □座名(宗)自敬寺

☆ゆうちょ銀行 □座名 自敬寺

記号 14000 番号 49640451

1 報告

前坊守 服部八重子が一月二十七日に八十四才の人生を終えました。六十五年間、自敬寺の寺庭として寺を守り続けてくれました。晩年は八人の孫、四人のひ孫にも恵まれ穏やかな老後を送っていました。

辛抱強いので多くの病気を抱えていても、痛みをあまり人に見せませんでした。夏に本堂が完成するまでは頑張ると申ししていました。が、今年に入ってから急に弱り、親族の見守る中で安らぎの内に天寿を全うしました。故人が生前中に賜りました御懇情に対し厚く御礼申し上げます。



本来なら檀信徒皆様に葬儀告別式のお知らせすべきところでしたが、本堂建設中でもあり、本人の希望もありましたので控えておりました。どうかご容赦下さい。

また今年の三月は自敬寺第十五代住職 服部祖承和尚の十三回忌になります。そこで、春の彼岸会には前住職の位牌壇と合わせて祭壇を設けますのでご焼香下さいませなら幸いです。△△掌



平成二十九年一月

東向山 自敬寺

坐禅会 3月5日(日)・4月2日(日) 16時～17時半 イス有

写経会 3月8日(水)・4月8日(土) 13時～16時の間 イス席

元気運動 **歩こう会** 護持会主催

- ・日時：3月28日(火) 9:20
- ・集合：地下鉄新大阪駅ホーム内梅田側
- ・行先：京都 **城南宮のしだれ梅・椿**
- ・持物：お弁当・交通費・観覧料



集めています！



書き損じハガキ・使用済み切手・未使用切手・ビール券・商品券・新品タオル・石けん・シャンプー・毛布・シーツ・洗剤・雨具(カッパ・傘)・大きいカバン(ポストンバッグ・リュック)・寝袋・大き目の紙袋・使い切りマスク・運動靴(スニーカー)・着物・帯
自敬寺女性サロン・NGO自敬寺より

親子フェスティバル

日時：**3月26日(日)** 10:00～13:00
会場：淀川区民センター
費用：材料費200円
対象：幼児・低学年



「自敬寺のホームページ」は、<http://www.jikeiji.com/> 「自敬寺」で検索してください



ご遺骨はお釈迦様の元に埋葬されます

永代供養墓 合祀仏塔 お釈迦様の銅像

- 28年前、跡継ぎのおられない方から相談を受け20年前に建立。
- 寺が中心の縁ある人々が供養し合うサンガ(仏縁の集い)です。
- 永代位牌が位牌堂に祀られます。
- 将来もお寺が続く限り守られていきます
- 彼岸・せがきには塔婆供養をしています。
- ご遺骨はお釈迦様の蓮台の下に埋葬されます。
- 生前に依頼されている方は現在35名おられます。
- 墓を整理し、埋葬される方も近年増えてきました。
- 次の世代の事をお考えになる方が最近増えてきました。
- 管理料は不要ですが、永代志納金御一人30万円が必要です。
- ★本堂新築資金は永代納骨の志納金が原資です。



平成29年度 年回表 法事の目安

- 1 周忌・平成28年寂
- 3 回忌・平成27年寂
- 7 回忌・平成23年寂
- 13回忌・平成17年寂
- 17回忌・平成13年寂
- 23回忌・平成5年寂
- 27回忌・平成3年寂
- 33回忌・昭和60年寂
- 50回忌・昭和43年寂



永代位牌が並び
返本堂内➡



あなたのご先祖の
過去帳位牌をお寺に
奉納してください。
新本堂内に並びます。



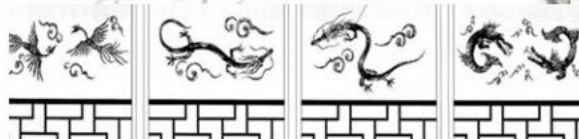
☆志納金・写経・喜捨箱
の合計30万円以上

吊り灯籠を
ご奉納ください。
(ご芳名記載 限定50基)
新本堂二階回廊に
吊るされます。



☆志納金・写経・喜捨箱の
合計50万円以上
過去帳位牌付き

ガラス彫刻の鳳凰・龍・マカラをご奉納下さい。
(ご芳名記載 限定37枚)
本堂外階段の手摺にはめ込まれます。



☆志納金・写経・喜捨箱の合計100万円以上
過去帳位牌と吊り灯籠付き

この新聞は再生紙を使用しています